

第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第4回実施分（令和4年11月11日開催） 自由記載欄

【傍聴者 会場4名・オンライン12名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者5名記載）

- ・人材の話が、もっとも興味深く、また難しい課題であると思いました。委員の先生の一人が、職員の現場感覚をみがいていくという話をなさっていましたが、むしろ委員の先生方に一週間程、そうした現場体験を積んでほしく感じました。
- ・委員の方々の言葉の意味についてくのが大変で、傍聴にもネット検索できる環境があると良いと思いました。（Wi-Fi 環境）
- ・行政改革、行政評価というと1980年代後半からの小さい自治体にしていくイメージがあります。武蔵野市らしい行政評価とは何かを考えさせられました。
- ・専門的人材が会計年度任用職員ではなく、無期雇用にしていくことをどう考えていくのか、考えました。
- ・コーディネーター→地域の力のメリットとデメリット。デメリットが大きいときもある。
(1) 課題がある→(2) コーディネートが必要→(3) コーディネートされない→(4) 課題が解決されないどころか解決が遅れる→(5) 振り回される・課題が悪化。いいことばかり想定しないほうがいい。←チャレンジするなという意味ではない。
- ・縦割り・横断的な組織づくり→動的なプロジェクト型。
- ・子ども版六長調→作るかはともかく、「意見を聴かれる子どもの権利 子どもの権利条約第12条は次のように規定している。「1. 締約国は、自己の見解をまとめる力のある子どもに対して、その子どもに影響を与えるすべての事柄について自由に自己の見解を表明する権利を保障する。その際、子どもの見解が、その年齢および成熟に従い、正当に重視される。」→少なくとも子どもに関わることは子どもの意見を聞かないとまずいですよね。（子どもの権利委員会 一般的意見12号）
- ・職員の現場主義の話いいですね。今度、コミセンに職員が来てくれます。
- ・討議要項についてと行政評価について。
作るのと評価するのが同じという部分のご指摘に納得しました。

- ・精神障害のある方の地域移行は論点にあるが、特に知的障害のある方の地域移行が大切になってくると思う。

国連でも指摘されていた。進んで市がやっているのではないかと思う、のご指摘がありました。

市でぜひ積極的に進めて欲しい分野です。

移行する前に地域から離れざるを得ない要因があって、それがとり残っているということだと思います。

「わくらす」ができた背景は、市内に一つもなかったことや、親御さんの希望もありと事務局のご説明がありました。

そうでない形の手立てを作っていく、その方法があることを親御さんにも知らせることが必要だと思います。

国連での指摘で、パーソナルアシスタントの話があったと思います。

- ・ヤングケアラーを例にされていた、分野が横断する課題が多いこと。
- ・武蔵野市の先生は離職率が低いが幼保の先生の離職率は高いとのこと。
とても気になるご指摘でした。
- ・水道の一元化
- ・若い世代が将来にかかる健康の問題をかかえる
- ・保育分野の離職

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者5名記載）

- ・本日初めて傍聴しましたが、ものすごい詰め込み作業を行っているのだなあ…という感想をもちました。市職員の方々のライフ・ワーク・バランスを考えると、どのようなアウトプットが出てくるのか。若干危なっかしい気がします。
- ・ここでも作業を、例えば市民にどう分かりやすく伝えていくのか、その部分は重要であるように思います。
- ・市民もですが、市職員も会計年度任用職員が増え、市政に関心を持つことが、どうしたら良いか思い悩みます。正規と非正規の温度差をどう埋めるのかが課題です。
- ・オンライン傍聴ができるようになったことで、傍聴が増えて良かったです。
- ・例えば、新型コロナ対策で市が自宅療養支援を都と交渉して、結果、自分がコロナになった時はとても手厚い市の制度だと思ったのですが、知人に聞かれ、同じ市内に住んでいても全く知らな

ということがわかりました。

市からの情報発信に加え、地域の人と人とのつながりがあることが補助的な役割になると思いました。

- ・六調からの大きな変化に、9月の国連・障害者権利委員会勧告を含めてはいかが。
- ・不寛容社会ですね。不寛容社会は武蔵野市を良くしないと思います。宝くじでも当たればいいのに。
- ・委員から傍聴者に向けて、アンケート記入や知人を誘ってきてくださいと、ポジティブなお話がありました。
多くの方に伝える傍聴できる方法を考えた時に、
傍聴申込み後の視聴方法を、例えばYouTubeの利用をしてみてもどうかな、と思いました。
任意ですが、リマインダー機能があったり、他のツールでもいいと思いますが、今は文字や手話情報がないので、YouTubeだと簡易の字幕がつくので、いいのではと思いました。
今回のお話の中で、ズーム画面を委員長の画面に固定されているとご説明がありました。
その際には、誰が発言されているかわかりづらくなると思うので、発言される方は必ず名前を言ってからご発言いただくという風に共通認識になると、オンライン傍聴の方や初めて傍聴する方に、誰が発言されているか伝わりやすくなる、と思いました。
- ・水道の一元化。災害のときに本当に一元化した方が、水道確保できるのか。復興、確保するときに、大きい枠で、対象の人口、物が多い、地域が広い、のはデメリットになりうるのでは。1番住民に近い自治体で、生命線となる水道を保持できることのメリットを再確認してほしい。

(※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)